

・ターミナル事業者のご意見

・感覚的だが、本船動静の問い合わせは減ったと思うが、CY 搬出可否に関する情報については、減っていないと思う。

(Aターミナル)

・1年前と比較してオフィスが静かになったので、問い合わせ全般としては、減っていると実感している。感覚的には、7割～8割程度になったかと思う。

(Bターミナル)

・本船動静や搬入の問い合わせ状況に関しては、変化したという実感はない。

(Cターミナル、Dターミナル)

・現場の感覚では、運送業者への Colins の周知が足りないように思うため、更なる周知を御願いたい。

(Aターミナル)

・海貨業者は、Colins で情報を確認しているようだが、再確認という意味で電話してくる。Colins の情報の更新頻度を知らなくて、古い情報かもしれないという疑念から電話してくる。この類の問い合わせは、いくら Colins がより一層普及してもなくならんと考えている。

(Aターミナル)

・船舶動静の問い合わせがあった時は、回答した後、Colins を紹介することで、次回からの問い合わせを削減させるようにしている。他のターミナルの船舶動静も把握できるため、Colins を見るよう強く勧めている。

(Bターミナル)

・混雑状況カメラで、並んでいるトレーラーがコンテナを積んでいるかどうかを見て、コンテナ搬入用・シャーシのみのコンテナ搬出用ゲートの用途比率を判断している。

(Bターミナル)

・混雑状況カメラはよく利用している。混雑状況及びシャーシとコンテナ(実入り・空)の並びの状況を確認して、ゲートの受付人員数を変更したり、待機レーンの用途比率(シャーシ・コンテナ)を変えている。

(Cターミナル)

・混雑カメラは利用する。混雑状況を見ることで、ゲートの受付人員数の増減を判断する。

(Dターミナル)

調査の結果、ゲートトラブル及び電話問合せ共に、Colins で情報提供している項目について効果を確認することができました。また、ターミナル事業者からのご意見では、Colins はターミナル事業者にも活用され、効果を実感しているターミナルもあることが分かりました。

しかし、ターミナル事業者間での効果の実感にはばらつきがあり、また、海貨業者の中には Colins を利用していても問合せを行うという実態があることも明らかになりました。

したがって、更なるお問合せの削減には、Colins の信頼性を向上させることが必要であると考えています。

本調査結果及びターミナル事業者からのご意見を踏まえ、平成23年度はさらに利用者への周知と信頼性の向上を図り、Colins が実業務に反映してもらえるように取り組んで参ります。